

洋泉社「新・らくらくミクロ経済学入門」の購入者用の練習問題。

企業 A は X 財を、企業 B は Y 財を生産しています。企業 A が企業 B に外部不経済を与えており、企業 A と企業 B の費用関数はそれぞれ

$$C_A(x) = x^2$$

$$C_B(y, x) = y^2 + x^2$$

で与えられています。ここで x は企業 A の生産量、 y は企業 B の生産量を表します。X 財と Y 財の市場価格はそれぞれ 60, 30 であり、常に一定であるものとします。生産者余剰が最大となる資源配分の状態を実現するため、政府が企業 A に対して X 財の生産量 1 単位当たり t の租税を賦課するとき、 t の値として、正しいのはどれですか。ただし、企業は個別に利潤最大化を図るものとします。

1. 10 2. 15 3. 20 4. 25 5. 30

(国税専門官 改題)

(動画解説) <https://www.youtube.com/watch?v=btkuffSGmNM>

ミクロ経済学「攻略」P 326